

第 1 部

- ♪ **ビオラ ダ ガンバ ソナタ** G. F. ヘンデル
ラルゲット(ゆったりとした速さ)
アレグロ(明るく楽しい速さ)
アダジオ(静かに遅く)
アレグロ(明るく楽しい速さ)
- ♪ **アメイジング グレイス** 英国讃美歌
- ♪ **フォークソング ソナタ** 野田 雅巳
ロッホ ローモンド
バーバラ アレン
ロンドンブリッジ ロンド
- ♪ **グリーンスリーブズ** イングランド民謡
- ♪ **愛の挨拶** E. エルガー
- ♪ **ジュピター** G. ホルスト
- ♪ **ビートルズ ヒッツ** J. レノン / P. マッカトニー
デイトリッパー・ア ハード デイズ ナイト・ペーパーバック ライター
ゲット バック・ミッシェル・ノルウェーの森・イン マイ ライフ
ラブ ミー ドゥ・レディー マドンナ・オブ ラ ディ、オブ ラ ダ

第 2 部

- ♪ **スペイン舞曲 第 5 番** E. グラナドス
- ♪ **鳥の歌** P. カザルス
- ♪ **タンゴ** I. アルベニス
- ♪ **アルハンブラの思い出** F. タレガ
- ♪ **スペイン舞曲 第 1 番** M. de ファリャ
～オペラ「はかなき人生」より
- ♪ **火祭りの踊り**
- ♪ **カルメン幻想曲** P. サラサーテ
アレグロ モデラート(序奏・間奏曲アラゴネーズ)
モデラート(ハバネラの歌)
レント アッサイ(鼻歌「トゥ・ラララ」)
アレグロ モデラート(セギディージャの歌)
モデラート(ジプシーの歌)

演奏者プロフィール

マリンバ：明瀬 由武 AKASE Yoshitake

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK FMにて新実 徳英「For Marimba I」、西村 朗「ソロマリンバのための詩曲」他、数多くのマリンバ作品の初演をする。青年海外協力隊々員として中米コスタリカに派遣され、国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者として、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日～」

CD「マリンバの贈り物パート2～星降る夜に～」

(ピアノ：高瀬 奈美 作・編曲：織田 英子)

<http://museum.world.coocan.jp/y.akase/index.html>

ピアノ：高瀬 奈美 TAKASE Nami

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。クラシックの古典から近代・現代音楽までピアノ音楽の可能性を探って、多彩な演奏活動を展開。つくば市では、2002年からピアノ独奏による「叙情詩集」、様々なゲストを迎えての「夜想曲シリーズ」が11回を数え、昨年11月には全曲ファリアの作品による「ファリアのタベ」を開催、好評を博す。

「つくばサロンコンサート」メンバー。

CD「ジョン・ケージ/ソナタとインターリュード」

編曲者

野口 道子 NOGUCHI Michiko

アメイジング グレイス

佐々 涼子 SASSA Ryoko

ジュピター

西邑 由記子 NISHIMURA Yukiko

ビートルズ ヒッツ

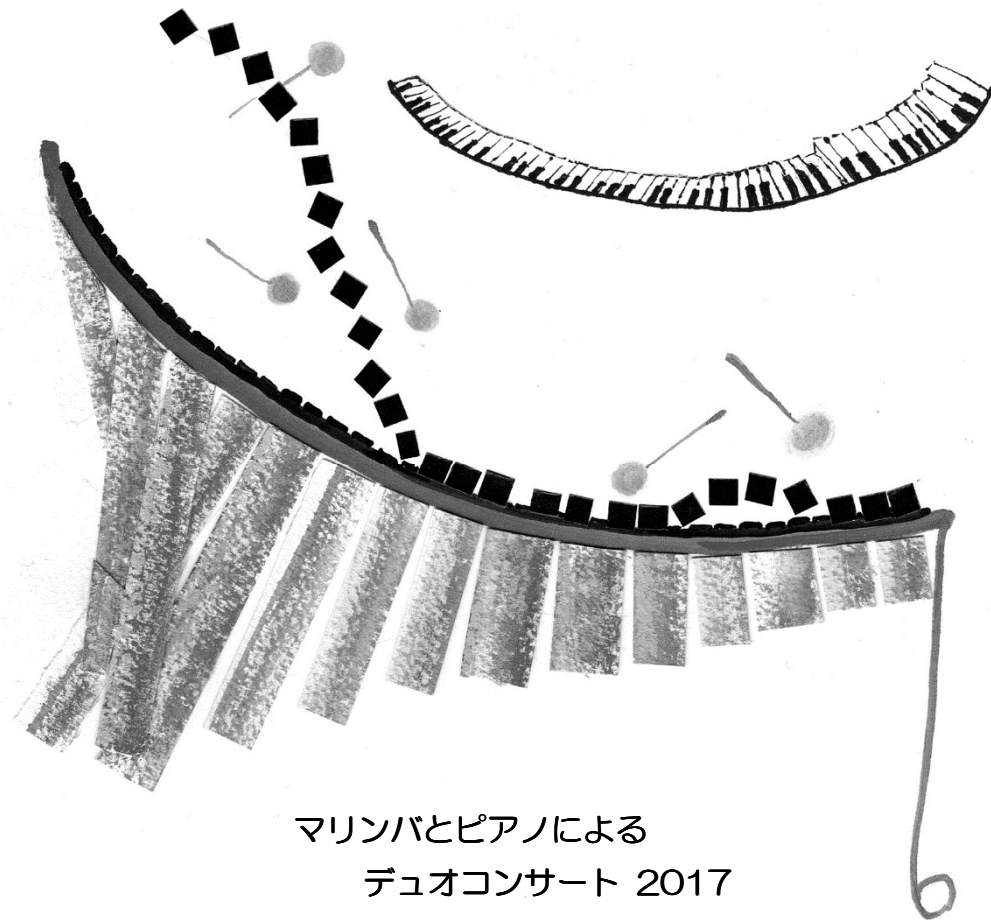
アンケートにご協力ください。パソコンの方はホームページから、



携帯の方は左のQRコードからお送りください。

お待ちしております。

主催：久守文化基金



マリンバとピアノによる

デュオコンサート 2017

『イギリスで歌う、 スペインで舞う』

マリンバ 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

つくば アルスホール

2017年6月24日(土) 2:00PM、6:00PM

第1部

♪ ビオラ ダ ガンバ ソナタ

G. F. ヘンデル (1685～1759)

ヘンデル (**Georg Friedrich Händel**) は、ドイツに生まれイギリスに帰化した、バロック期を代表する作曲家です。日本ではドイツの作曲家と言われていますが、生涯の約3分の2をイギリスで過ごしているので、イギリスでは自国の作曲家としているようです。

このソナタは、今ではあまり見る機会の少なくなった
ビオラ ダ ガンバ (viola da gamba～足に挟んで演奏する弦楽器。一見小さなチェロ) のために書かれています。

当時のソナタ形式の 緩―急―緩―急の楽章で構成されています。

♪ アメイジング グレイス

英国讃美歌

作曲者はわかりません。アイルランドかスコットランドの民謡を元にした、あるいは南部アメリカで作られたなどの説があります。イギリスの牧師ジョン・ニュートン (**John Newton**) が 1772 年に讃美歌として作詞しました。イギリスからの移民が多いアメリカ合衆国で、現在最も慕われている曲と言われています。

♪ フォークソング ソナタ

野田 雅巳 (1959～)

野田さんはマリンバのために作曲、編曲を多数していますが、この曲はイギリスに古くから伝わる三曲を素材にしています。

ロッホ ローモンド (**Loch Lomond** ローモンド湖) は、スコットランドとイングランドの争いによる悲恋の歌、とも言われています。

バーバラ アレン (**Barbara Allen**) も同様にスコットランド民謡です。愛する人が亡くなり、少女バーバラ・アレンがその後を追うまでのストーリーが描かれています。

ロンドン ブリッジ ロンド (**London Bridge Rondo**) はイギリスの伝承童謡集「マザーグース」の中で最も有名な「ロンドン橋落ちた」をロンド形式 (異なったメロディーを挟みながらテーマが何度も繰り返されます) にしています。

♪ グリーンスリーブズ

イングランド民謡

つれない恋人グリーンスリーブズ (緑色の袖の服を着た女性) への悲しい思いを綴った歌詞をもつ **Greensleeves** は、イングランドとスコットランドの国境付近で 16 世紀末ころに生まれたといわれていますが、詳しいことはわかりません。G. ホルスト (吹奏楽のための第 2 組曲) や V. ウィリアムズ (グリーンスリーブズによる幻想曲) などがこの曲のメロディーを主題に作曲しています。また、多くのアーティスト (ザ・ベンチャーズ、オリビア・ニュートンジョン、平原 綾香、本田 美奈子 他) も CD の収録曲に取り上げています。

♪ 愛の挨拶

E. エルガー (1857～1934)

「威風堂々」などで知られるエルガー (**Edward Elgar**) は 20 世紀イギリスを代表する作曲家です。小さな楽器店に生まれた彼は、作曲法のほとんどを独学で身に付けました。この曲は、生涯彼を支え続けた妻アリスとの婚約への誓いとしてピアノとバイオリンのために作られました。作曲者自身がピアノ独奏やその他の楽器編成のために編曲し、広く親しまれています。

♪ ジュピター

G. ホルスト (1874～1934)

ホルスト (**Gustav Theodore von Holst**) はイギリスの作曲家で、特にオーケストラのための組曲「惑星」が有名です。組曲「惑星」は 7 つの楽章で構成されていますが、ジュピターはその 4 曲目に置かれていて、もっともよく知られています。日本では 2003 年に平原綾香が歌詞を付けて歌い、大ヒットしました。

♪ ビートルズ ヒッツ

J. レノン (1940～1980)

P. マッカートニー (1942～)

1960 年代に世界的に活躍したビートルズには約 200～300 曲の作品があると言われています。

西邑さんの「ビートルズ ヒッツ **Beatles' Hits**」にはその中からレノン (**John Lennon**) とマッカートニー (**Paul McCartney**) が手掛けた 10 曲が取り上げられてメドレーとなっています。

デイトリップパー DAY TRIPPER ア ハード デイズ ナイト A HARD DAY'S NIGHT

ペーパーバック ライター PAPERBACK WRITER ゲット バック GET BACK

ミッシェル MICHELLE ノルウェーの森 NORWEGIAN WOOD

イン マイ ライフ IN MY LIFE ラブ ミー ドゥ LOVE ME DO

レディー マドンナ LADY MADONNA オブ ラ ディ・オブ ラ ダ OB-LA-DI, OB-LA-DA

第2部

♪ スペイン舞曲 第5番

E. グラナドス (1867~1916)

カタルーニャ(州都はバルセロナ)出身のグラナドス (**Enrique Granados**) は、アルベニスと並び、スペインの国民的作曲家として有名です。民族色の強いアルベニスの音楽と比較すると、彼の音楽はその民族性に加えて、ロマン的な性格が強く、その甘美さ、繊細さにおいて、シューマンや、ショパンとも通じるところがあるようです。一方で、印象派的な傾向など、ドビュッシーからの影響も見られます。

この曲は「スペイン舞曲集」作品37の第5番で、ギター風の伴奏の上に哀愁を帯びたメロディーが歌われており、この曲集の中で一番知られる曲となっています。

♪ 鳥の歌

P. カザルス (1876~1973)

チェロ奏者のカザルス (**Pablo Casals**) は故郷カタルーニャ民謡のこの曲を編曲し、レパートリーとしました。特に1971年10月24日の世界国際平和デーの国際連合本部でのアンコール演奏が全世界に放送されたことで有名になりました。原曲はカタルーニャのクリスマス・キャロルで、聖誕を鳥が祝っている様子を歌っています。

♪ タンゴ

I. アルベニス (1860~1909)

やはりカタルーニャ出身のピアニスト、作曲家アルベニス (**Isaac Albéniz**) は、スペイン近代民族主義楽派として特にピアノ曲を多く作曲しています。「タンゴ」は組曲「スペイン」作品165の第2曲で、彼の全作品中で、もっとも知られている曲かもしれません。

♪ アルハンブラの思い出

F. タレガ (1852~1909)

F. タレガ (**Francisco Tárrega**) はスペイン(カステリョン県)出身の作曲家・ギタリストです。多くのギター作品がありますが、ロマン派音楽にスペインの民族音楽の要素を取り入れた特徴をもっています。

「アルハンブラの思い出」はグラナダにあるアルハンブラ宮殿を訪れた時の印象をもとに作曲された、とされています。

♪ スペイン舞曲 第1番 ~オペラ「はかなき人生」より

M. de ファリャ (1876~1946)

ファリャ (**Manuel de Falla**) はとりわけ、出身地アンダルシアのフラメンコに興味を寄せ、多くの作品にその影響が表れています。初期作品の中で最も重要な作品はオペラ「はかなき人生~**La Vida Breve**」また、「恋は魔術師」「三角帽子」など、彼の作品には、民族主義と印象主義の両方がバランスよく混在しています。

オペラ「はかなき人生」の第2幕で演奏されるスペイン舞曲は、哀愁に満ちた旋律とスペイン風リズムから構成されており、バイオリンをはじめ様々な楽器で演奏されます。今日はピアノソロで演奏します。

♪ 火祭りの踊り

M. de ファリャ

「火祭りの踊り」はバレエ音楽「恋は魔術師」の中でも特に有名な曲で、「燃えさかる炎の前で、激しく踊って悪魔払いの儀式をする」様子を描写しています。

真夜中の鐘の音のあとに、儀式がスタートします。

原曲はオーケストラのために書かれていますが、いろいろな楽器で演奏されています。

今日は、バイオリンとピアノ用に編曲したものをもとに演奏します。

♪ カルメン幻想曲

P. de サラサーテ (1844~1908)

「ツィゴイネルワイゼン」の作曲者サラサーテ (**Pablo de Sarasate**) はスペイン北東部(バスク地方)出身です。カルメン幻想曲(仏: **Fantaisie sur Carmen**) 作品25は、J. ビゼー作曲のオペラ「カルメン」に登場する旋律を用いて、バイオリンのテクニクをふんだんに聴かせてくれるバイオリンと管弦楽のための幻想曲です。「カルメン」の旋律を基にした同種の作品は数多くありますが、その中でももっとも有名なものです。